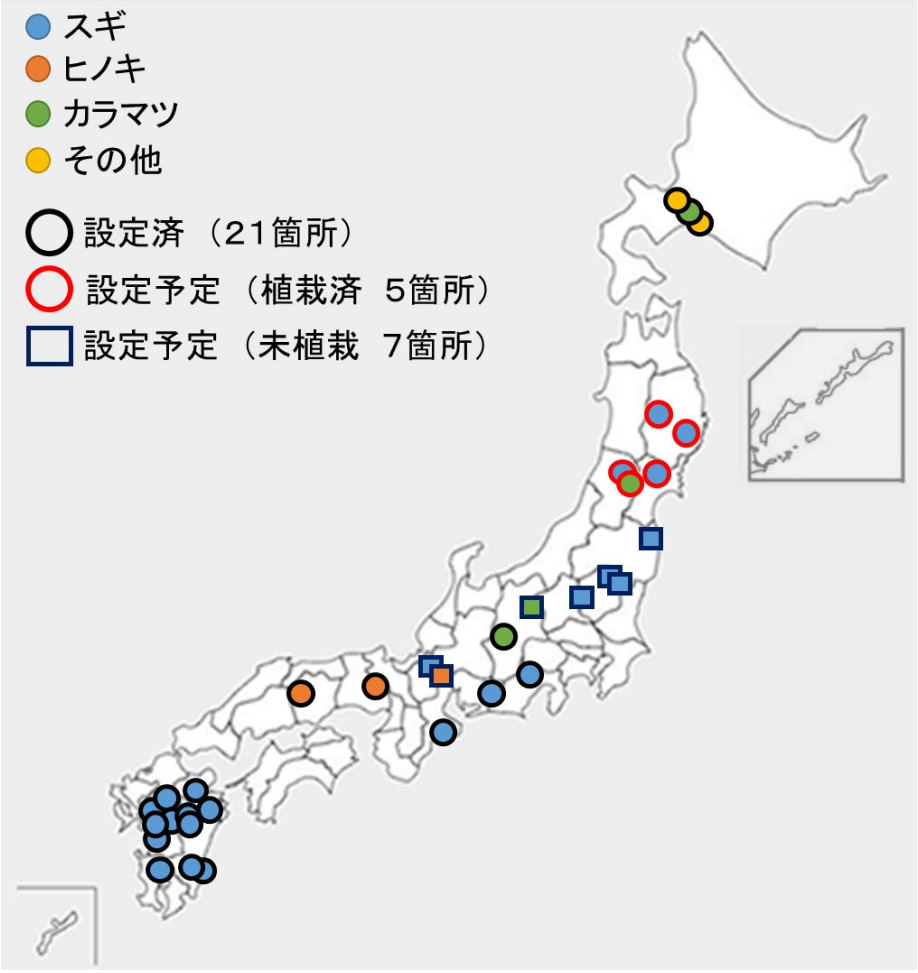
特定母樹等の展示林の設定状況について

令和４年６月 14 日

特定母樹に由来する苗木は、従来の種苗と比較して成長が優れることが期待されています。林木育種センターでは、精英樹同士の交配による子供世代の個体の中から、成長等に優れたものをエリートツリーとして開発し、その中から特に成長が優れ、材質が平均より優れた個体を特定母樹に申請しています。エリートツリーや特定母樹に関心のある方から、「成長がよいと聞くが、特定母樹から生産される苗木は、従来の苗木に比べてどれくらい成長がよいのだろうか」という声がしばしば聞かれます。このため、造林関係者、苗木生産者等に、これらの苗木の優れた特性を確認して理解いただくための林分として、展示林を整備していくことが重要だと考えています。

林木育種センターでは、森林整備センター、森林管理局（国有林）、都道府県、市町村、民間企業、篤林家等と連携しながら、スギ、ヒノキ、カラマツ等のエリートツリーや特定母樹の展示林の設定を全国で進めており（図）、今後これらの展示林を活用しながら、エリートツリーや特定母樹の普及の促進に貢献していきたいと考えています。



全国に設置された特定母樹等展示林の位置（令和４年６月現在）

（参考）

令和 3 年度に設定した展示林の例

今年 3 月、民間企業と連携して、スギ特定母樹等展示林を静岡県富士宮市に設定しました(写真 1、2)。林内に複数の視察コースを設け、それぞれのコース沿いに展示区画を設けました。この展示区画には、特定母樹、エリートツリー等の第二世代と、現在の育種種苗の主流である第一世代精英樹が交互に植栽されています。視察に訪れる方が、第一世代精英樹と今後の普及の主力となる特定母樹を見て比較することができる設計になっています。

写真 1. 民間企業と連携して設定したスギ特定母樹等展示林（2022.3 設定）

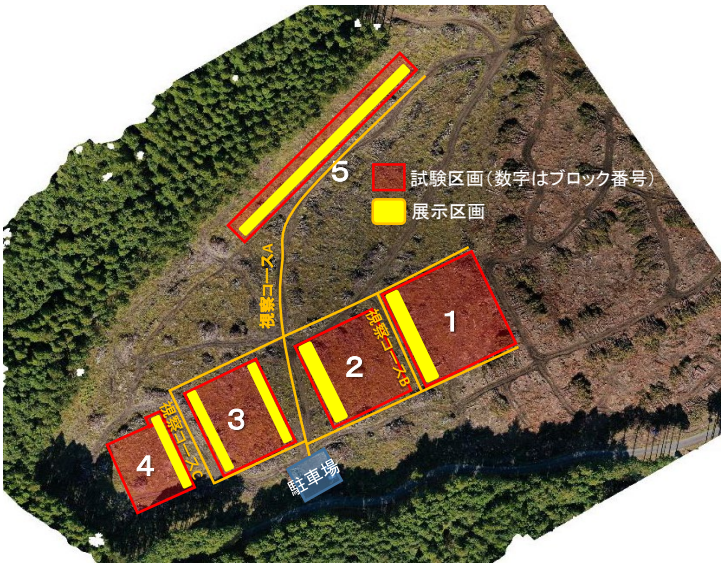


写真 2. スギ特定母樹等展示林の設計と展示区画